

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

平成28年度第6回理事会議事録

開催日時 : 平成28年12月11日(日) 13時00分～16時55分

開催場所 : 日本臨床検査自動化学会事務所(文京区本郷)

出席者 : 康 東天理事長、澤部祐司理事、久谷直人理事、細萱茂実理事、
松尾収二理事、山舘周恒理事、横田浩充理事、和田隆志理事、
栢森裕三監事、村上正巳監事

欠席者 : なし

冒頭、康 東天理事長より、年末の多忙な時期の理事会に時間を割いて全役員に出席頂いたことに対して謝意が述べられ、理事会審議に入った。

議題1. 理事長職務執行報告

学会業務についてはメールを通して進捗状況を共有しており、この場で特に報告する事項はなし。

議題2. 副理事長職務執行報告

以下について山舘周恒副理事長より報告がなされた。

- (1) 事務所会議室のレイアウトが変更され、それに伴ってテーブルと棚を購入した。
- (2) 先の大会における JACLaS との共催シンポジウムの経費を両方で折半することで合意に至った。
- (3) JACLaS からの寄付金について、例年同様に書類を作成して交付の依頼を行い、今月末に交付される見込みである。

議題3. 学術委員会より

学術委員会担当の松尾収二理事より以下の報告がなされた。

- (1) 新規委員会設立および既存委員会の名称変更について定時社員総会および委員会での説明文書について報告がなされ、審議が行われた。
 - ・医療情報委員会
 - ・微生物感染症委員会

上記2委員会の設置が本理事会において正式に確認された。微生物感染症委員会の委員長は長崎大学病院検査部長の柳原克紀先生、医療情報委員会の委員長は金沢大学附属病院検査部長の和田隆志先生に依頼することとし、メ

ンバーについては新年度の設立に向けて人選し、4月の春季セミナー時に初回の委員会を開催する。

続いて既存の技術委員会の名称について意見が交わされ、現委員会から提案を求めてから理事会で討議することとなった。

なお、委員は1委員会所属を基本とすることとなった。

(2) WASPaLM 共催シンポジウムについて

遺伝子・プロテオミクス委員会より企画の提案があり、当学会として共催シンポジウムの申し込みを行うことで了承された。

(3) JCCLS からの「白血球目視分類の共用基準範囲案」賛同依頼について

JCCLS 内の基準範囲共用化委員会での審議を踏むなどの手順について確認が必要なことから、当学会としては保留として JCCLS 事務局へ康 東天理事長より連絡することで了解された。

(3) 遺伝子・プロテオミクス技術委員会の補刷発行企画について

来年度予算には計上されていない事案であるが、発行する方向で了承された。今後、委員会の出版物など経費が発生する企画について次年度予算作成

時に理事会への上申をアナウンスすることとなった。

議題 4. 編集委員会より

JJCLA 第 41 巻 5 号表紙の通巻号数の誤印刷があり、担当会社より経緯報告および謝罪が書面で届いた旨、編集委員長の細萱茂実理事より説明があった。訂正については次号の発送時に訂正シールを同封することとなった。

議題 5. 次期大会関連について

(1) 学会支援会社見積書について

4 社に見積書提出を依頼し、2 社 (EC ハウス、サンプルネットの 2 社) より届いた見積書について審議し、次回はサンプルネットに依頼することで全員の賛同が得られた。なお、平成 30 年度の第 50 回大会についても従来通り運営会社は学会本部で契約する旨、山舘周恒副理事長より第 50 回大会長へ連絡することとなった。

(4) 大会準備に関わる事務的業務の委託について

大会準備に関わる事務的業務の一部を学術広告社に追加委託することで了承された。

(5) 次期大会の企画案について

プログラム概要について大会長の細萱茂実理事より説明がなされた。

- ・一般演題は発表時間 7 分と質疑 3 分とする。
- ・初日、午後に一般演題、教育講演、メモリアル講演、サテライトセミナーを入れる。2 日目はランチョンセミナー10 会場と、臨時社員総会・会員総会（委員会報告含む）、会員懇親会を企画する。3 日目はランチョンセミナーを 10 会場とし、午後に RCPC、技術セミナーを組む。
- ・技術セミナーの実習会場は限られた時間での準備となることから遺伝子・プロテオミクス委員会と POCT 技術委員会にアナウンスする。

議題 6. 定款・細則について

(1) 倫理・COI 委員会設置について

委員 6 名程度（医師と技師各 3 名を目安とする）の構成とし、その選出を行う。

(2) 倫理・COI に関する細則を新たに設ける関係で、定款・細則の変更および新しく設けた細則の案について久我祐司司法書士（事務所：文京シビックセンター）にチェック依頼する件（見積書取得済み）が了承された。

議題 7. 学会本部事務関係事項について

(1) JJCLA 掲載論文の英文化許諾願い 2 件について

1 件は海外の販売許可申請用として英文とスペイン語への翻訳、他の 1 件は販売促進用を目的に英文への翻訳の許可申請あり。本件について下記条件付きで許可することが承認された。

- ・冒頭に翻訳文の責任は作成側にあることを明記する。
- ・翻訳後に当学会へ提示してもらう。

(2) 第 32 回春季セミナー（平成 30 年 4 月）の日程変更について

チェリーブLOSSAMの開催日との関係で平成 30 年 4 月 7 日（土）に変更する旨、山崎 正晴例会長より申し出があり了承された。

(3) サーバー負担費用について

前回の理事会時にプレゼンテーションのあった会員管理システム（ジーンクス社）を利用することになった場合でも、学会ホームページとメールシステムは必要と思われることから現行の委託会社と 3 年間の契約を行うこととなった。

(4) 大学病院検査部長および技師長の入会状況・評議員就任状況について

会員加入および評議員就任状況の把握と入会案内の調査資料を作成した。今後はさらに整備し、資料として活用していくこととなった。

議題 8. 役員選挙について

- (1) 選挙管理委員会を 3 名構成として人選中であることが山館周恒理事より報告された。
- (2) 改選理事は 2 名となるが、2 年後の継続役員数に配慮して、理事 3 名、監事 1 名を今回の選挙定員枠とすることで全理事の承認が得られた。

議題 9. その他

- (1) 次回の理事会開催日程

1 月 29 日（日）を第一候補として、後日メール確認を行って決定する。

- (2) その他


前回の議事録確認要請がなされた。


以上

平成 29 年 / 月 29 日

一般社団法人 日本臨床検査自動化学会

理事長 康 東 天 

議事録署名人 稲 本 啓 三 
(出席監事)

議事録署名人 村 上 正 巳 
(出席監事)